

日本 Tip edge 矯正研究会東京大会症例展示についてのご案内

展示の目的は治療結果の検討と評価や優秀症例に対する認定などです。また認定症例に基づいた日本 Tip edge (JTS0) 矯正認定医の資格を得ていただくためのものです。今回は一部でも Tip edge 装置を使用していれば各会員に自由な形式で症例展示をしていただけるようにいたしました。

展示日時および場所：

2025 年 8 月 31 日（日）9:15 より大会場症例展示場所にて展示開始
診査および判定し終了までに公表する。

症例展示の資料：

今回は特に指定なしで、各会員の自由な形式（治療中の症例でもかまいません、資料も、お持ちの資料だけで結構です）で展示していただきます。

（コンピュータ使用による展示もよい）資料は複製したものを提出する。

また、資料としては次のようなものを参考にしてください。

1. 症例の概略（初診時、動的治療終了時おとび保定時、治療途中でもよい）
2. 写真（顔面・口腔内、プリント使用）
3. 模型（平行模型・顎態模型・マウント模型）
 - ・前面に初診は黒、治療途中は青、動的治療終了時は赤、保定時は緑のシールをはる
 - ・咬合がわかりにくいときはバイトチェック・バイトブロックをもちいる
4. X線写真（パノラマ・デンタル・セファロ等）
 - ・セファロはトレースをそえる（分離できるようにする）
 - ・各時期に応じて模型のシールと同じ色でトレースする
 - ・自由に重ね合わせをしてよい
5. 資料は A4 クリアファイルにいれて演題名を明確に記す資料は年齢と治療段階を明記する、資料は複製したものを提出する。

JTS0 のホームページを参考にしてください。

評価方法：

Tip edge 装置を使用しており、初診時、動的治療終了時、保定後の症例の概略、写真（顔面・口腔内）、模型（平行模型・顎態模型・マウント模型）およびX線写真（パノラマ・デンタル・セファロ等）がそろっているものについては認定医のための症例とする。

10 症例の認定医のための合格症例で Tip edge 矯正認定医の認定証を授与する。Tip edge 矯正認定委員会において Tip edge 矯正認定医のための展示症例について可否を判定することとする。

展示の申し込み方法：

展示は各会員 3 症例までとさせていただきます。展示ご希望の会員は準備の都合上 7 月末日までに事務局まで申し込みください。

JTSO 症例展示について

症例から学ぶということ、矯正歯科研究会においてもっとも重要なものは症例展示であると言われております。臨床医は、立派な理屈より優れた結果が全てであり、私たち臨床医は優れた結果を得ようとするためにティップエッジテクニックの講習会を受講しました。すでに 25 年以上を経過した当研究会にとって、今後、症例展示を重要視していくことが大切なことではないかと思います。

いろいろ環境は異なっても、症例展示こそが「自分自身はティップエッジテクニックを臨床で実践しているんだ」ということの証になり、アピールしていただける場になり、そのような症例を持ち寄っての互いの研鑽ができる場にもなるのではないかと考えます。しかし症例展示に対しての抵抗も一方ではあると思います。日本独特の年功序列やあるいは恥じ、権威、等々といったものが気持ちの中にあるようでしたら症例展示はネックになるかもしれません。しかしそのような気持ちをなくしてでも、実際に自分が治療した症例を展示し、また他の会員の症例も見ることができること、症例の治療テクニックが共通なのでディスカッションの基盤があり、全員からの評価も受けられること、自分自身の症例を見直す場として、お互いの症例の良い点を学ぶ紳士的な集まりとして、私たちはこのメリットを十分活用して、自らのレベルアップにつなげていただければと思います。レベルアップすること、それこそが JTSO の発展につながり、加えて JTSO が少しでも社会的な使命を果たすことにつながるのではないのでしょうか。

○ 症例展示の目的

1. 自分の治した治療結果の再認識と反省と改善

自らの矯正臨床向上のために、自分の症例を提出し、自己評価を行い、他の会員とのディスカッションを通して研鑽を行なう。

2. 優秀症例の選出

優秀な症例を展示された先生には日本ティップエッジ矯正認定医という資格を得ていただく形として、JTSO認定医制度を運営しております。

日本矯正歯科学会の認定医資格を得るには、大学の矯正科に5年間常勤という条件があります。すでに開業されている先生方にとっては、いくら優れた症例を50症例、100症例数多く実績を残されても、日本矯正歯科学会の認定医の資格は得られません。JTSO会員の中には、日本矯正歯科学会の認定医と同等あるいはそれ以上に優れた臨床結果を残されている先生もおられることと思います。臨床医は、立派な理屈より優れた結果が全てです。JTSOでは優れた臨床結果を残されている先生には矯正歯科医としての認定医資格を得ていただくべきだと考えております。

ご意見、ご希望等ございましたら、会長、副会長、名誉会長、学術担当理事までご遠慮なくお申し出下さい。

JTSO 会長 宮島邦彰